

効果報告レポート

【事業者名】

チエル株式会社

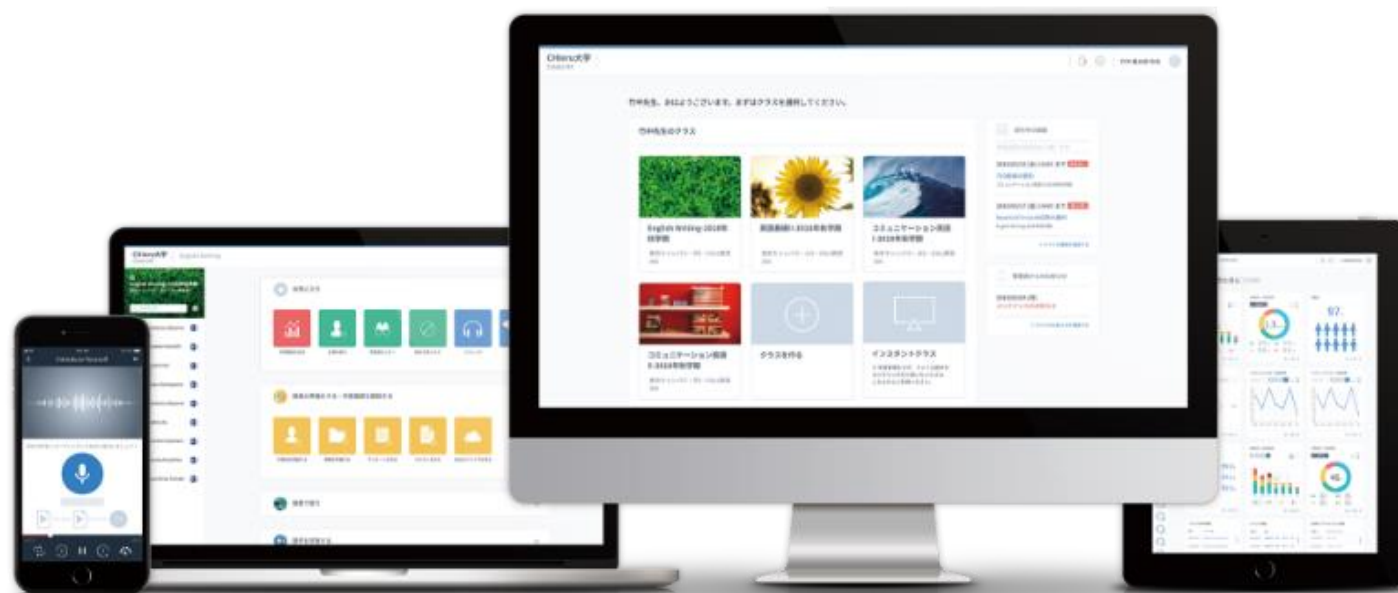
【ツール名】

CaLabo MX

【ツールの機能分類】

オンライン語学学習

2022年2月



●BYOD等で整備する1人1台の学習端末を活用して普通教室でCALL教室と同等の語学学習を実現

- ・ 環境に依存しないWebブラウザベースのクラウドシステム
- ・ 対面授業の支援機能も搭載
- ・ 授業内/外問わずMX上での学習履歴を一元管理



■ EdTech ツールの概要

●スピーキングなど英語4技能の学習が「いつでも」「どこからでも」できる環境を提供するMALLシステム



音声速度や音量の調整、A-Bリピートなどリスニングに便利な機能を搭載しています。

- ✓ リスニング
- ✓ シャドーイング
- ✓ ディクテーション



発音矯正や、質問に対する口頭回答など。音声認識により、一部のアクティビティで**自動採点**を実現します。

- ✓ 発音矯正
- ✓ シャドーイング
- ✓ レコーディング
- ✓ スピーキング（感想/要約）



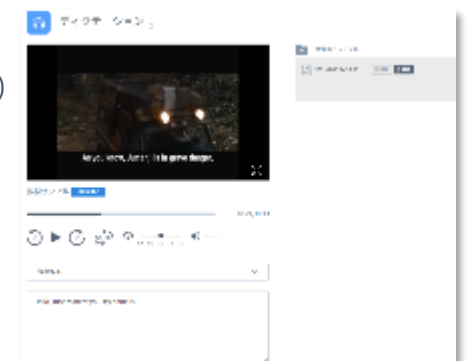
リーディングの補助として、単語の早引きやMy単語帳への登録、習得済み単語の色分けができます。

- ✓ リーディング
- ✓ 速読
- ✓ 英文要約
- ✓ 語彙クイズ



ディクテーションや質問に対する筆記回答、英単語の書き取りができます。**自動採点**を実現します。

- ✓ ディクテーション
- ✓ ライティング（感想/要約）



MALL (Mobile Assisted Language Learning)

ノートPCやスマホなど可搬性のあるモバイル端末を利用した語学学習システム

【生徒の課題】

- ・ 生徒が授業以外で英語に触れる機会が少ない

【教員の課題】

- ・ 教科書の内容に合わせた教材の準備に時間がかかる
- ・ スピーキングやライティングの宿題を多く出したい
- ・ 紙で実施しているテストを電子化したい
- ・ CALL教室（LL教室）が無い・廃止になる
- ・ オンライン授業ではCALL教室と同じような授業ができない
- ・ 新学習指導要領に対応した検定教科書に沿ったICT活用した指導案の作成

大宮光陵高校 様

・ CaLabo MXのトライアルをした目的

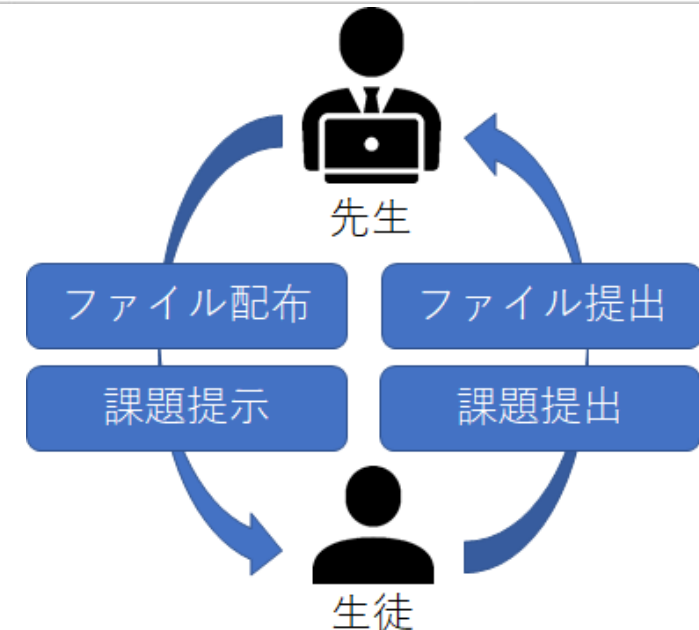
うちの学校には外国語コースがあるにもかかわらず、LL教室がない。
LL教室の機能を何とかPC教室で実現したいと考え、
iPadでかつブラウザベースで使える語学学習がないか探していた。

・ MXを授業でどのように利用したか

授業の中では、「ファイル配布」の機能、「課題」機能を利用し、生徒がやった課題を先生に提出するという
使い方を利用した。

〔出席を取る〕などは、生徒が面白がってやってみてくれるのだが、その先、課題をどのように配布してどのように回収しようかというところで少し戸惑ってしまった。

CaLabo MXの魅力はどこのPCからログインしても教材を作れるところ、CALLシステムのCaLabo EX のムービーテレコのようなものをWebブラウザでも利用できるところがいい。



・これからのCaLabo MX に期待すること

英語を文字化する機能（STT機能）は教材作成や録音した音声の文字化の際に役立っている。これからほしい機能としては、ライティングで生徒が入力して提出されたテキストを、単純な文構成チェックをしてくれるような機能がほしい。いまは表現活動を重視されるから、書かせる宿題を出すが生徒全員分集めて添削するのはかなり手間がかかる。なのである程度ざっくり機械が直してくれるようなものがほしい。

		CaLabo EX	CaLabo MX	
授業準備	教材作成（STT,TTS）	×	○	
	出席	○	○	
授業機能	会話	○	△※	※Windows/Mac のみ対応
	モニタ	○	△※	※Windows/Mac のみ対応
	語学レコーダーソフト （動画/音声教材）	○	○	
	ファイル配布	○	○	
自習機能	レッスン	×	○	

教材作成：動画・音声から作る

STEP 1

2

3

4

スクリプト・日本語訳を入力してください。

スクリプト

France, the self proclaimed fashion capital of the world, has banned ultra thin models. Officials voted for the law to combat anorexia under the new law, models need to be above a certain body mass index. BMI, which hasn't been determined yet. The World Health Organization says anything below 18.5 is underweight. Agencies that hire underweight models could be fined up to \$87,000 and jailed for six months.

日本語訳

日本語訳を入力してください。

※ 教材作成にはHOYAサービス株式会社の音声関連ソフトウェアを利用しています。

← 戻る

☒ 教材を共有する
 ☐ 教材のDLを許可する

次へ →

タブレットで何かやると考えた場合、音声を簡単に録音回収したり管理できるということはMXのいい所だと感じた。ただ、今は先生を複数クラスに登録したり、先生間の成績共有が少し弱い。その部分をもっと強化していけば、たとえば私とALTの先生が授業を教えているとして、生徒から提出されたものをALTにもチェックさせたい場合、今のMXではできない。ライティングやスピーキングで提出されたものを、簡単にファイルとしてダウンロードでき、それをALTの先生に確認してもらうというような使い方も可能になるため、ぜひ機能強化をしてほしい。

浜松聖星高校 様

・ CaLabo MXのトライアルをした目的

CALL教室も整備していたが、Windows 7 の環境だった。

サポートが終わってしまう関係で、今後CALL教室をどうしていくか考えていく必要があった。

学校全体ではChromeBookを導入し、1人1端末持っている状態だったため以前とは違うことができないか、MXがCALL教室、CaLaboEXに代わるものとして使えるかを検討するためトライアルを実施した。

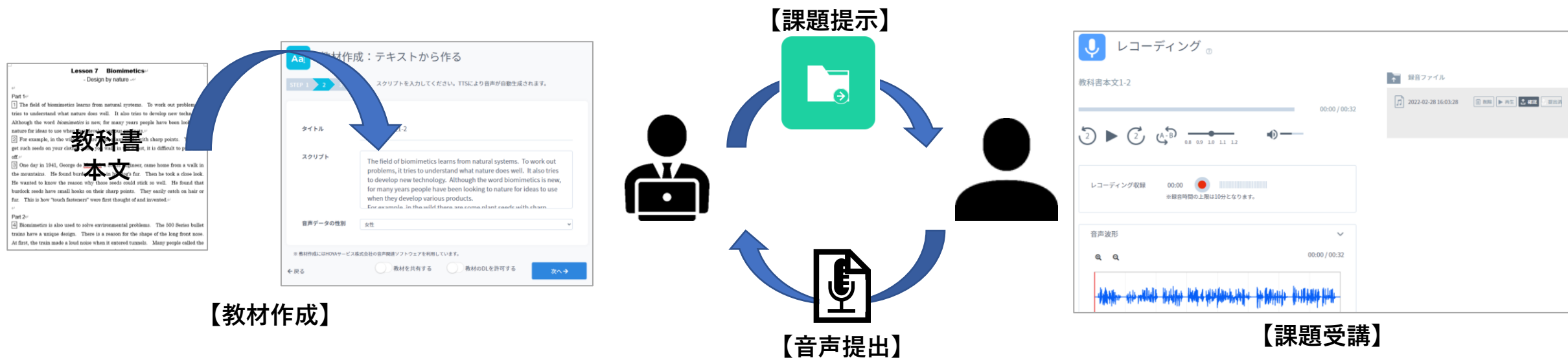
【機能の比較】

		CaLabo EX	CaLabo MX	
授業準備	教材作成 (STT,TTS)	×	○	
	出席	○	○	
授業機能	会話	○	×	※chromebookでは利用不可
	モニタ	○	×	※chromebookでは利用不可
	語学レコーダーソフト (動画/音声教材)	○	○	
	ファイル配布	○	○	
自習機能	レッスン	×	○	

■ EdTech導入補助金2021における活用事例

・ トライアルを利用してみて

まずは教材作成機能で教科書の本文の教材を作成し、それを生徒に提示して、読み上げたものを提出してもらうという活動を授業で実施した。

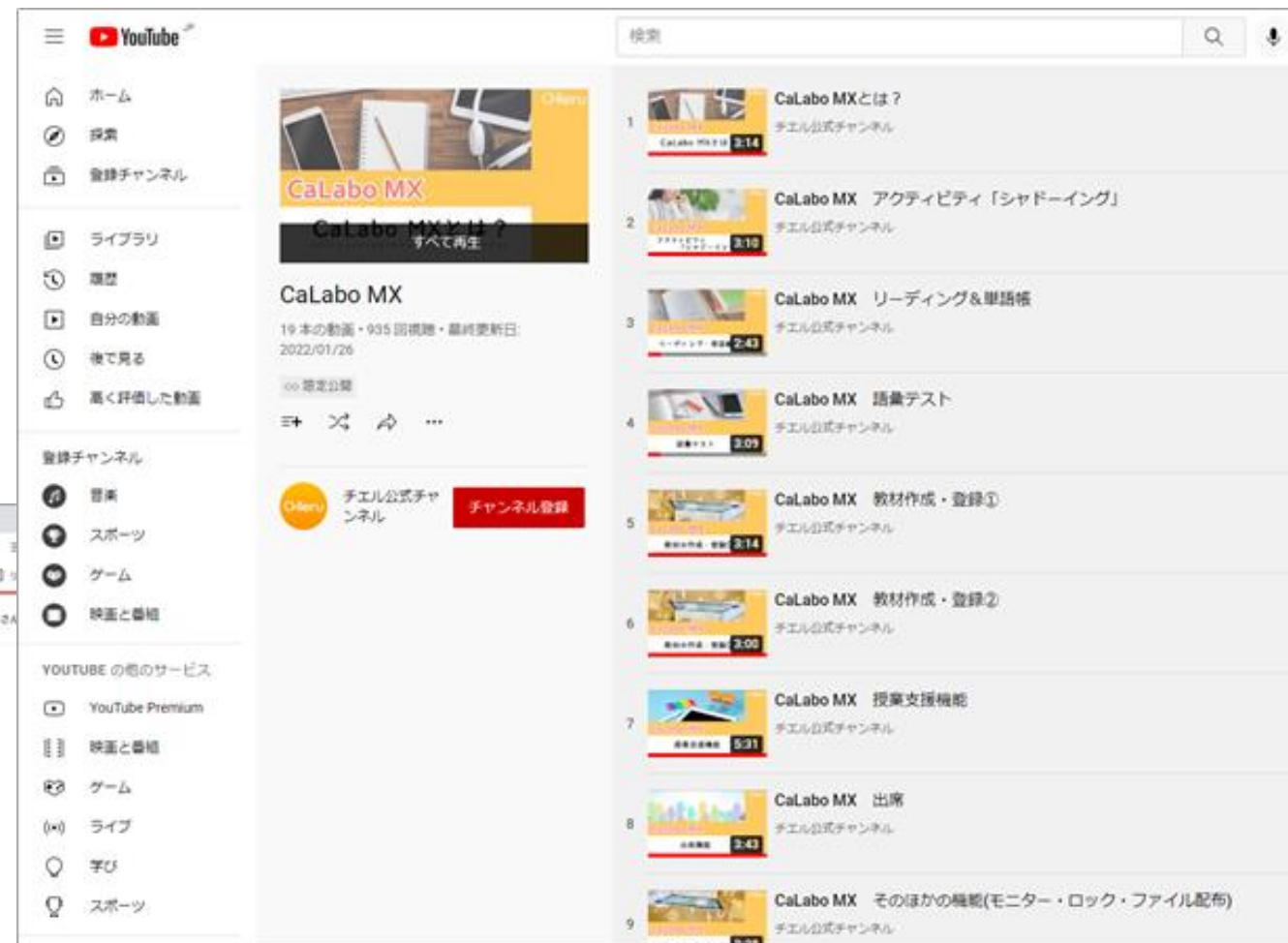


CALL教室では、CALL教室に行かないと機能を使えず、そのために特定の先生しか使えないということがあったが、MXは教室にとらわれず利用できるため、全教員が利用できるようになったという点はよかった。

まだ慣れないので、クラスを選んで、課題を作りたい、音声を選んで・・・というステップが多かったため使いこなすには厳しかった。全教員が使いこなすには操作が多いところがネック。
CaLaboEXで使っていた「会話」機能をChromeBookでも使えるようになれば、より魅力的だと感じた。

■ 補助事業において実施したサポート内容

- ・ 製品利用開始のため操作説明会を実施
訪問できる学校様は訪問にて操作説明
訪問が難しい場合はオンラインで対応
- ・ トライアル中は電話にて利用状況などの確認
- ・ 利活用促進のため、YouTubeにて動画の配信



トライアル校 【50音順】

大阪府立三国丘高等学校

川崎市立高津高等学校

近畿大学附属広島高等学校東広島校

埼玉県立大宮光陵高等学校

静岡県立浜松商業高等学校

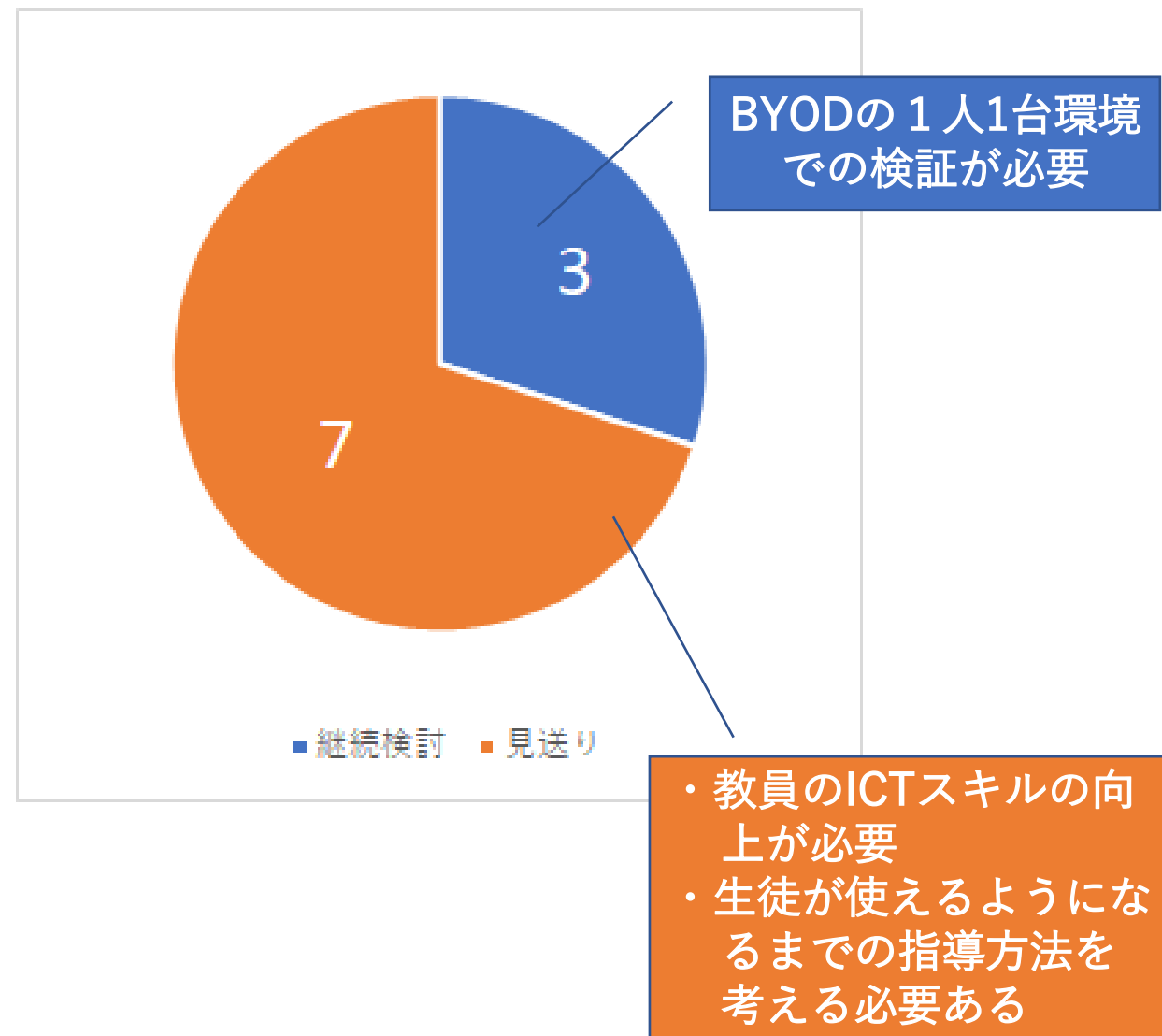
東京都立産業技術高等専門学校

長野県立白馬高等学校

中村学園三陽中学校

中村学園三陽高等学校

浜松聖星高等学校



- ・生徒が授業以外で英語に触れる機会が少ない
- ・スピーキングやライティングの宿題を多く出したい
 - 解決事例
 - ①教科書や教材に付属している音声ファイルをCaLabo MXに登録してシャドーイングの宿題として実施することで改善
 - ②CaLabo MXにプリセットされている時事英語ニュースをシャドーイング、リーディング（感想文の提出）を宿題として実施することで改善
- ・紙で実施しているテストを電子化したい
 - 解決事例
 - 紙で実施していた単語テストをCaLabo MXの単語テストの機能を利用することで改善
 - 必修単語をテキストで登録するだけで自動で問題作成されることと採点が自動で行われることで時間の節約につながった
 - 英語の音声を聞いて回答させる選択式の小テストを電子化したかったがCaLabo MXの小テストでは、音声ファイルをセットすることができないため実現できなかった

単語テストの回答画面



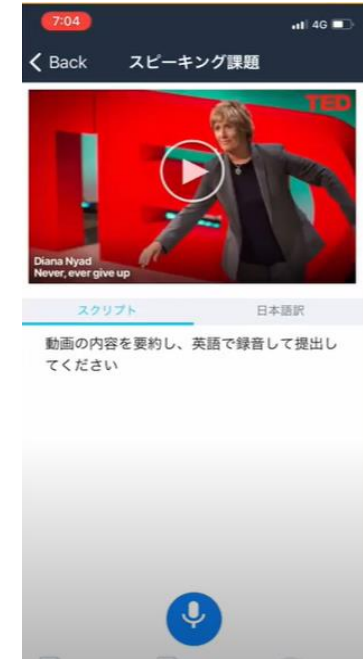
- 教科書の内容に合わせた教材の準備に時間がかかる
 - 解決事例
 - ①STT (Speech to Text) の機能で英語の音声ファイルをテキスト化できるため教材作成時の文字起こしの手間が改善された
 - ②クラウドサービスなのでどのPCからでも問題作成ができるため教材の準備が改善された
 - 作成した教材を他の先生に共有する機能が実装されていなかったため解決に至らなかった
12月末のバージョンアップで、他の先生への教材共有機能を追加になったが効果を確認できるまでには至っていない
 - 教科書の内容にマッチしたプリセットされている時事英語ニュースの記事を見つけることに時間がかかるため活用が進まなかった
 - 会話の録音問題の作成に利用したかったがモデル音声が女性の声の1種類しかなく利用できなかった
12月末のバージョンアップで、男性の声のモデル音声が増えただけで女性の声のモデル音声も追加になったが利用するまでには至っていない

- CALL教室（LL教室）がない

- 改善事例

CALLシステムのCaLabo EXのムービーテレコ（レコーダーソフト）と同様のシャドーイングなどの学習がCaLabo MXのWebテレコを利用して普通教室の無線LAN環境とChromebook・iPadでも実施でき効果があった
生徒のスマートフォンでも同様の音声学習ができるため効果が見込める

スマートフォンでの学習画面



- オンライン授業ではCALL教室と同じような授業ができない

- 対応しているMicrosoft Teams、Zoomを活用している学校がなかったため
オンライン授業で利用して頂く機会がなく効果を検証するに至らなかった

- 新学習指導要領に対応した検定教科書に沿ったICT活用した指導案の作成

- 製品の機能などを覚えることが中心になっていたため指導案を作成する
までには至らなかった

これまでの学習と、CaLabo MXを利用した学習での違い

<肯定的な意見>

- ・音読する時間が増えた。
- ・スピーキングで評価してもらえることが嬉しかった。
- ・音声課題は楽しかった。
- ・発音を改めて確認できるので、頭に入りにくい単語の再確認ができた。
- ・発音練習をする回数が増えたので英語力向上につながった。
- ・スピーキングやリスニングに重点を置いた学習が可能になった。
- ・スピーキングの宿題が増え、効果的なのではないかと思った。
- ・話している方が楽しいので、気分転換になった。

<否定的な意見>

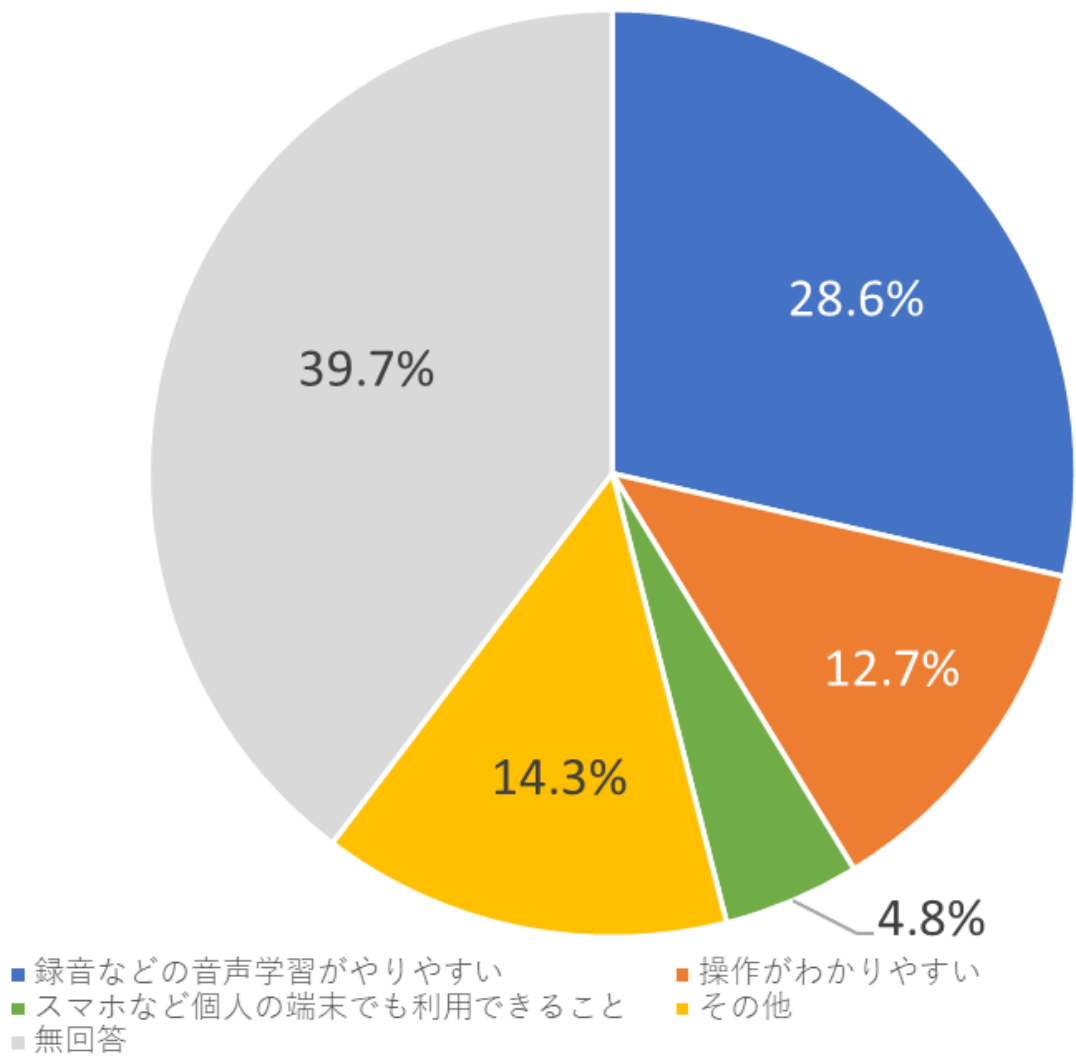
- ・特段の変化はありませんでした。
- ・宿題の提出を忘れてしまうことがあった。
- ・少し面倒だった。
- ・宿題が多く大変だった。

英語力の向上 = 英語に触れる時間を増やす

授業中だけではなく宿題などで音読したものを提出するなど音声学習の機会が増えることで英語力の向上につながっていることが伺える。

一方で、宿題の量や期間、リマインドなど運用面を配慮しつつ、生徒のモチベーションをどう上げていくかも考慮しながら進める必要があることが伺える。

生徒の感想



<生徒の主な意見>

- ・ 録音のやりやすさ、再チャレンジのしやすさが良かった。
- ・ 録音がそのまま提出できるのでやりやすかった。
- ・ 音声の再生と自分の録音を一つの画面でできるのは便利だった。
- ・ なめらかに巻き戻しをすることができたところが便利だなと思いました。また、確認というボタンで自分の発音がどのように聞き取られたかを確認することができた点が良かったです。

課題 1：利用開始までに教員の手間がかかっている

- ・ 利用開始までに必要な登録作業の代行
- ・ 端末やOSの種類別の生徒用スタートアップガイドや動画の提供

課題 2：教員が50分の限られた授業時間の中でCaLabo MXを利用して教科書に沿った学習を生徒に実施させるための具体的な手法がわからない

- ・ 新学習指導要領・検定教科書に対応した指導案の作成

課題 3：教員の教材作成の負荷がかかっている

- ・ 教材の作成支援
 - ・ 教科書の必修単語を学習するための単語テストの作成支援
 - ・ 紙の小テストをCaLabo MXに移植する作業の支援
 - ・ 教科書の内容にマッチした時事英語ニュースリストの提供

課題 4：教員機能の操作性や機能改善を行い使い勝手を向上する必要がある

- ・ クラウドサービスの利点を生かして、先生方の要望や改善点のサービスに反映するタイミングを早くする

■ 会社概要

Chieru

私たちチエルは、子供たちの未来のために
世界中の先生の授業をICTで支えます。

会社名	チエル 株式会社
設立	1997年10月1日
本社所在地	〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー3F
代表者	川居 睦（代表取締役会長）
資本金	3億3千6百万円
主な事業内容	■教育用ソフトウェア、ネットワークおよびシステムの企画・研究開発、コンサルティング、操作要員・技術要員等の指導者育成 ■情報通信サービス及び情報提供サービスに関する業務 情報処理機器、電気通信機械器具、事務用機械の製造及び販売 ■教材、教育機器、文房具の企画、開発及び販売 ■図書、書籍、雑誌の企画、制作、出版及び販売 ■労働者派遣業務



製品サポートサイト	https://support.chieru.net/
問い合わせ先	☎ 03-5781-8110 お問い合わせフォーム https://www.chieru.co.jp/mailform/inquiry/